

め、我々がそれぞれ自国の他の省庁のカウンターパートとより緊密に連携すること

図書紹介

◎東南アジアにおけるアグロフォレストリー用樹木の順化 (ROSHETKO, J.M. & D.O. EVANS, eds. 1999. Domestication of Agroforestry Trees in Southeast Asia : Proceedings of a Regional Workshop held November 4~7, 1998, in Yogyakarta, Indonesia. Forest, Farm, and Community Tree Research Reports, Special Issue. Taiwan Forestry Research Inst. and Council of Agriculture, Taiwan, Republic of China ; Winrock Internatl. Morrilton, Arkansas, USA ; and Internatl. Centre for Research in Agroforestry, Nairobi, Kenya, 242 pp. 価格 15 US\$?)

アグロフォレストリーでは各種の樹木が栽培されているが、それらの特性解明を含めて順化はまだ進んでいない。FAOの調査によれば、これまでに植栽されている樹種は、3熱帯では東南アジアが最も多様であるが、それらも十分に本来の生産性を発揮しているとは言い切れない。生態的に多様性に富む東南アジアでは、在来種・外来種を問わず、樹種・系統の選択や、栽培技術による生産性の向上が重要な課題である。1997年4月、ICRAFとWinrockの間で樹木順化についての共同計画が開始されたが、この計画を支援し、樹木順化のための課題を明らかにし、そして関連機関の間の連携を強めるために、13か国から60名を超える参加者を得て、標記のワークショップが同年11月にガジャマダ大学ワナガマ演習林で開催された。本書には33篇の報告が載せられているが、それらは国レベルの順化プログラム(11)、国際的な順化プログラム(4)、小規模アグロフォレストリーのための順化(11)、特別な樹種についての順化活動(6)の4分野(括弧内の数字は報告数)に纏められ、最後に4作業部会の検討結果と参加者の一人の報告が載せられている。この参加者は、ICRAFフィリピン分室の指導を受けながら樹木の順化活動にも参加しているフィリピンの民間人で、ワークショップで学んだことと感想を述べているが、ICRAFの実際的な指導を高く評価しているのが印象的である。ちなみに作業部会は、順化に影響する外的要因、順化すべきアグロフォレストリー用樹木、順化のプロセスと戦略、研修と情報普及の連携の4分野であった。(浅川澄彦)